第７章　教　　育

第1節　教 育 委 員 会

1　教 育 委 員 会

委員会は、定例会を12回、臨時会を１回招集し、議案件数は33件であった。

2　教育大綱・教育基本構想

社会情勢の変化、国や県の動向、総合教育会議における協議を踏まえ、新たな「沼津市教育大綱」を策定した。

併せて、有識者や関係団体の代表者等で構成した策定懇話会、庁内策定委員会での協議を経て、「沼津市教育基本構想」を新たに策定するとともに、各施策の主要事業を示す「沼津市教育基本構想実施計画」についても見直しを行った。

3　総合教育会議

「次期沼津市教育大綱」をテーマとした会議を、５月と10月の２回開催した。

4　学校規模・学校配置適正化推進事業

大平中学校区において、有識者、保護者、地域自治会、学校の代表者で構成する「学校の未来を考える会」を開催し、地域住民説明会や保護者の意識調査を経て、適正化方針を決定した。

また、長井崎中学校区においても、保護者説明会と意識調査を実施し、適正化方針を決定した。

さらに、昨年度に適正化方針を決定した第一・第二及び浮島の各中学校区においては、「新しい学校づくり推進委員会」を開催し、新しい学校の開校に向けた準備を行った。

5　中学校部活動地域展開推進事業

サッカー・陸上競技の２種目において休日部活動を終了し、地域クラブ活動「ヌマカツ」に転換した。また、ヌマカツの登録要件を定め、登録クラブの募集を開始したほか、ヌマカツの運営を支援するヌマカツ推進事務局の設置等を行った。

第２節　学校の運営・管理

５月１日現在における市立の学校数、学級数、教職員数（兼務者除く）、児童・生徒数は次のとおりであった。

区　　分	学　校　数	学　級　数	教 職 員 数	児童・生徒数
小　　学　　校	23 校	296 学級	610 人	6,923 人
中　　学　　校	18	161	415	3,973
高　等　学　校	1	15	62	603

１　小　学　校

第四小学校校舎整備工事、金岡小学校プール及び附属棟解体工事、第三小学校自動火災報知設備更新工事のほか、各小学校の営繕工事等を実施した。また、要保護及び準要保護家庭の児童の保護者に対して就学援助費を支給し、特別支援学級児童の保護者に対して特別支援教育就学奨励費を支給した。

⑴　経常費の状況

年　　度	学 級 数	児 童 数	決　算　額	１学級当たりの金額	１人当たりの金額
7	296 学級	6,923 人	2,316,925 千円	7,827,450 円	334,671 円
6	306	7,195	2,077,771	6,790,102	288,780

⑵　経常費の児童１人当たりの状況

（単位　円）

年　　度	人 件 費	物 件 費	維持補修費	そ の 他	計
7	63,534	241,647	18,671	10,819	334,671
6	59,169	183,296	34,915	11,400	288,780

⑶　要保護及び準要保護児童の就学援助費

区　　分	児　童　数	金　　額
学用品購入費・校外活動費等	938 人	11,479,172 円
修　学　旅　行　費	146	4,100,356
通　　学　　費		
新入学児童学用品費等	82	4,516,911
学　校　給　食　費	777	36,519,878
医　　療　　費		
7　年　度	1,943	56,616,317
6　年　度	2,216	63,247,825

※新入学児童学用品費等は令和８年度入学者分を含む

⑷　特別支援学級児童の特別支援教育就学奨励費

区　　分	児　童　数	金　　額
学用品購入費・校外活動費等	105 人	483,466 円
修　学　旅　行　費	15	161,619
通　　学　　費	27	438,490
新入学児童学用品費等	11	272,075
学　校　給　食　費	95	2,302,492
7　年　度	253	3,658,142
6　年　度	256	3,443,699

2 中　学　校

大岡中学校校舎整備工事、第三中学校理科室等空調設備整備工事のほか、各中学校の営繕工事等を実施した。また、要保護及び準要保護家庭の生徒の保護者に対して就学援助費を支給し、特別支援学級生徒の保護者に対して特別支援教育就学奨励費を支給した。

⑴　経常費の状況

年　度	学級数	生徒数	決算額	１学級当たりの金額	１人当たりの金額
7	161 学級	3,973 人	1,268,356 千円	7,877,988 円	319,244 円
6	156	4,034	1,185,477	7,599,209	293,871

⑵　経常費の生徒１人当たりの状況

（単位　円）

年　度	人件費	物件費	維持補修費	その他	計
7	55,058	206,384	39,264	18,538	319,244
6	53,543	181,273	41,010	18,045	293,871

⑶　要保護及び準要保護生徒の就学援助費

区　分	生徒数	金額
学用品購入費・校外活動費等	695 人	13,431,207 円
修学旅行費	175	11,152,431
通学費		
新入学生徒学用品費等	165	10,395,000
学校給食費	519	27,589,207
医療費		
7　年　度	1,554	62,567,845
6　年　度	1,563	62,383,455

※新入学生徒学用品費等は令和８年度入学者分を含む

⑷　特別支援学級生徒の特別支援教育就学奨励費

区　　分	生　徒　数	金　　額
学用品購入費・校外活動費等	55 人	374,817 円
修　学　旅　行　費	5	142,176
通　　学　　費	10	246,160
新入学生徒学用品費等	19	576,289
学　校　給　食　費	41	1,096,658
7　年　度	130	2,436,100
6　年　度	112	2,147,512

3　高等学校

中高一貫教育の利点を活かし、６年間を通した教育の充実に努めた。また、非常用発電機修繕等を実施した。

⑴　経常費の状況

年　　度	学級数	生徒数	決　算　額	１学級当たりの金額	１人当たりの金額
	学級	人	千円	円	円
7	15	603	608,889	40,592,600	1,009,766
6	15	601	596,668	39,777,867	992,792

⑵　経常費の生徒１人当たりの状況

（単位　円）

年　　度	人件費	物件費	維持補修費	その他	計
7	839,600	157,617	11,258	1,291	1,009,766
6	804,685	138,718	47,599	1,790	992,792

第3節　学　校　教　育

1　「チーム学校」実現事業

各学校が、地域性や学校の独自性を生かした特色ある教育活動を通して中期計画を達成するために、児童生徒支援員や図書館支援員など必要な支援員を配置するとともに、各学校が行う地域交流の推進と外部人材の活用を図る事業を支援することを目的に、小学校23校、中学校18校の各学校で行われた事業に対し交付金を交付した。

また、全中学校区をコミュニティ・スクール地区とし、地域総がかりでの学校運営に取り組んだ。

2　言語教育による表現力・読解力育成事業

国の承認を受けた、「読解の時間」と「英語の時間」からなる特別な教育課程「言語科」の授業を中心に、言葉を用いて人と積極的に関わる態度や論理的な思考力、表現力が高まる言語教育の推進及び読書活動の充実による読書力、読解力の向上を図った。

また、児童生徒が英語や異文化に親しみながら、英語によるコミュニケーションへの自信や興味、関心、意欲を高めていくことを目的として、小・中学校（中等部を除く）にＡＬＴ（外国語指導助手）を配置したほか、中学校全学年を対象に生徒とＡＬＴが１対１で、１人１台端末を経由したリスニング・スピーキングによる言語活動を行う、市独自のパフォーマンス・デイを実施した。

3　中高一貫教育

沼津市立沼津高等学校・中等部は、中高一貫教育校として６年間の計画的、継続的な教育を通し、生徒個々の自己実現を図ることを目標に、生徒の学力向上や個性を伸ばす教育を活発に展開した。

また、本市唯一の市立高等学校、中高一貫校として、市全域をコミュニティとしてとらえ、学校運営の改善や地域と連携した教育活動（キャリア教育や探究学習）を推進していくため、学校運営協議会を３回開催した。

4　情　報　教　育

小学校及び小中一貫学校の１人１台端末更新をはじめ、小・中学校の情報機器の更新等を行

うとともに、国が進めるＧＩＧＡスクール構想実現に必要な教職員のＩＣＴスキル向上のため、情報教育コーディネーターが１人１台端末や大型提示装置などのＩＣＴ機器を活用した授業づくりを支援する学校訪問を行った。

そのほか、沼津市立小中高等学校ネットワーク協議会によるＩＣＴ機器の活用とデジタル教材活用のための研究を行うなど、ＩＣＴの活用を通じた教育の質の向上に取り組んだ。

５　教職員の人事管理・研修

⑴　人　　事

学校や地域の実態及び教育課題に基づいた学校づくりや、信頼に応える教育の実現を目指す組織づくりのため、年度末に205人（小学校126人、中学校79人）の人事異動の内申を行った。

⑵　健 康 管 理

教職員の疾病の早期発見・予防指導のために、定期健康診断、指定年齢健診などを行うとともに、心の健康増進を図るため、小・中学校の教職員を対象に「ストレスチェック」を実施した。

また、高ストレス者には専門医との面談を行う体制を整えることで、教職員の疾病予防に努めた。

⑶　研　　修

教職員研修センターが進める研修会及び個別訪問支援により、小・中学校に勤務する教職員の資質向上を図った。

⑷　教科指導研究

小・中学校の教職員から選任した教科等ごとのチームで教科指導研究を推進し、年度末に研究の成果を教職員ポータル上に公開し、職員間で情報共有を図った。

各教科等の指導法や授業づくりの在り方等について研究・提案をし、９年間の系統性を踏まえた教科等指導力の向上を図った。

６　児童生徒の教育・健康管理

児童生徒の創意工夫、想像力の育成を図るため、小・中学校美術展を学校ごと開催した。

児童生徒をとりまく環境の変化に対応するため、教育委員会が作成した性に関する指導の手引「こころとからだの教育ガイダンス～よりよい生き方・豊かな人間関係を目指して～」をもとに、各学校で性教育を行った。

児童生徒の体力づくりを進めるため、新体力テスト（４月～10月）、中学校体育大会（６月～７月）など各種の体育行事を実施した。

健康管理については、学校医、学校歯科医、学校薬剤師を委嘱し、児童生徒の疾病の予防指導、治療の奨励を行うとともに、結核検診、尿検査、心臓疾患の検査を実施した。

７　スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの配置

児童生徒が心の悩みや不安、ストレスなどを和らげ、心にゆとりをもって安心して学校生活を送れるようにするために、全小・中学校にスクールカウンセラーを配置した。

また、学校生活や生活環境等に悩みを抱える児童生徒及び保護者を支援するため、スクールソーシャルワーカー４人を配置した。

８　学 校 給 食

学校給食を学校教育の一環としてとらえ、児童生徒の健康増進と望ましい食習慣の形成に努めた。

学校給食費の徴収・管理や地場産物の活用を含めた給食食材の調達を行うほか、学校給食衛生管理基準に基づく検査、関係職員の資質向上に向けた研修会を実施するなど、安全安心な学校給食の運営に取り組んだ。

また、物価高騰対策として、給食費の一部を公費負担とし、保護者負担の軽減を図った。

９　特別支援教育

心身に障がいのある幼児児童生徒に対し、就学支援委員会の適正な就学支援を実施し、知的障害学級、自閉症・情緒障害学級、通級指導教室において、障がいの種類、程度により個に応じたきめ細かな指導を行うとともに、医療的ケアが必要な児童等の学校生活を支援した。

また、臨床心理士等を含む専門家チームが小・中学校を巡回し、教職員や保護者の相談に応じるなどして、支援の充実を図った。

10　幼 児 教 育

市内の幼稚園・保育園・認定こども園の連携を高め、相互理解の促進、連携の充実を図るとともに、教育・保育の質や幼稚園教諭・保育士の資質の向上を目的として、「沼津市幼児教育研究協議会」の活動を支援した。

また、同一世帯における第２子以降の０歳から２歳児までのこどもの保育料並びに「一定の

所得未満の世帯」及び「第３子以降の世帯」の３歳から５歳児までのこどもの副食費について、本市独自の軽減施策として、国の基準を上回る補助等を実施した。

このほか、私立幼稚園の教職員の資質向上を図るため、３園に補助し、幼児教育の振興支援を行った。

11　育英奨学金

沼津市育英条例に基づき、奨学生選考委員会を開催し、新たに大学生10人及び高校等入学予定者14人を選考した。その結果、１人月額１万円の奨学金を35人の大学生に交付するとともに、入学時の一時金として７万円を高校等入学予定者に交付し、勉学の奨励に努めた。

12　児童生徒の安全指導

小・中学校では、学級活動などの時間を利用して、通学路をはじめとした移動経路の確認や自転車の乗り方などの交通マナー教育を行い、安全指導の徹底を図った。

また、地域や関係機関との連携を図り、児童生徒の安全確保に努めた。

沼津市子供の移動経路安全推進連絡協議会において、安全対策を専門とする有識者から助言を得ながら、関係機関と連携して通学路の安全対策を講じた。

13　小中一貫教育

全小・中学校（中等部を除く）を「併設型小学校・中学校」とし、既存の小学校及び中学校の基本的な枠組みは残したまま「義務教育９年間で子どもを育てる」ことに重点を置く小中一貫教育を推進した。義務教育９年間の系統性を確保した教育課程の編成・実施や、小中合同の会議・研修、中学校区単位での地域連携、小中乗り入れ授業等の教育活動に取り組んだ。

第4節　社　会　教　育

1　社会教育委員会

教育委員会の委嘱により、社会教育に関する調査・研究・検討や諮問に対する答申、意見具申などを行う、10人の委員からなる諮問機関であり、８月に教育委員会から諮問された「地域社会における生涯学習の推進について」への答申に向けて調査や検討を重ねるとともに、各種研修会にも参加した。

2　生　涯　学　習

市民の学習に対する意欲を支え、学習の場を提供するとともに、生涯学習を基幹とした社会教育活動を推進した。

⑴　生涯学習の推進

生涯学習についての各種情報を提供するとともに、イベントの開催等を通じて普及啓発に努めた。

ア　学習情報の提供

さまざまな学習情報を広く市民に提供するため、生涯学習情報誌として「沼津まなぶくん」を年１回1,400部、「さんさんだより」を偶数月400部発行し、市内各連合自治会、地区センター等に配布した。

イ　生涯学習推進イベントの開催

市民の生涯学習活動の成果を発表する場を提供するとともに、生涯学習の啓発と普及を図るため、「第34回さんさん学習フェスティバル」を開催した。

参加団体　44団体・個人　　来場者数　1,604人

⑵　地域における生涯学習の推進

コミュニティ単位に設置している「生涯学習地域推進員」と連携を図りながら、地域における学習活動を推進した。

ア　地域学習講師の派遣

各地域の団体やグループの学習活動を支援するため、その学習に合った講師や指導者を派遣し、地域学習を支援した（派遣回数８回）。

イ　出　前　講　座

市民の学習ニーズに応えるため、市職員を講師として派遣する出前講座を開催し、学習

機会の拡大を図った。

講 座 数　75講座　　開 催 数　71回

受講者数　3,290人

ウ　まちの識者

特技や知識を持っている方々を「まちの識者（地域学習指導者）」として人材登録し、市民からの学習指導者紹介の要請に応じた。

登 録 者　延べ84人　　紹介件数　19件

受講者数　616人

エ　イングリッシュデビュー事業

英語の習得には乳幼児期から英語に慣れ親しむことが重要であることから、英語に触れるきっかけづくりとして、０～３歳児とその保護者を対象とした英語教室を開催した。

また、４歳児から小学校低学年児童とその保護者を対象に、親子で英語を使ってコミュニケーションを図るプログラムを実施した。

開 催 数　20回　　受講者数　延べ367人（156組）

オ　地域学校協働本部

コミュニティ・スクールとの連携を図り、地域総がかりで子どもたちの学びや成長を支える協働活動を推進した。

３　成 人 教 育

⑴　市 民 大 学

価値観が多様化する現代社会の中で、市民の生涯学習活動を支援することを目的として、「人生100年時代を豊かに過ごそう！」をテーマに講師を招き、広い視野と新たな視点を提供した。

	日 程	テ ー マ ・ 講 師	出席者数（人）
1	7.19	津波や豪雨の時にどのように行動するか ～情報の活かし方を考える～ 常葉大学 社会環境学部 社会環境学科教授・副学長（静岡） 阿部　郁男	225
2	7.26	講談を楽しむ　～“講談”の中に生きる義理と人情～ 講談師、声優、ナレーター　一龍斎貞弥	189
3	8.9	困難を抱えたすべての人へ ～「だから無理」より「じゃあどうする」の方が面白い！ おおごだ法律事務所 代表弁護士　大胡田　誠	208
4	8.16	自分という人生の長距離ランナー スポーツジャーナリスト、大阪芸術大学教授　増田　明美	289
5	9.13	天気の達人　天達がみる地球の今 気象予報士　天達　武史	205
6	9.28	『源氏物語』の絵画　―その歴史と描かれた場面 静岡文化芸術大学 文化政策学部教授　片桐　弥生	206
7	10.19	不足の栄養素からみた、身体機能と疾病（症状）の関わり 静岡県立大学 食品栄養科学部 栄養生命科学科教授　新井　英一	166
8	11.9	趣味と脳の関係　～脳科学の視点から紐解く趣味の勧め～ 人間性脳科学研究所所長、武蔵野学院大学・大学院教授 澤口　俊之	299
9	11.24	渋沢栄一の「論語と算盤」から学ぶ ～よりよい明日のためのお金の使い方～ シブサワ・アンド・カンパニー株式会社 代表取締役　渋澤　健	177
			延べ 1,964

⑵　高齢者教育

生涯学習の一環として、高齢者が心豊かに明るく健康な生活を送るとともに、仲間と語り合い、生きがいを求める場として、65歳以上の市民を対象とした高齢者学級を開設した。

開設学級　万年青大学５学級

寿大学16学級（愛鷹、原、浮島、日枝、大岡、内浦、橘西浦、香南、我入道、第三中、大平、金岡、片浜東部、片浜西部、今沢、門池）

期　　間　４月～令和８年３月

学級生数　790人　　学習回数　各大学とも月１回（８月を除く）

また、学習のほかクラブ活動として、体力づくり、ダンス、詩吟、コーラス、俳句などを大学ごとに自主的に行った。

⑶　家 庭 教 育

ア　家庭教育講座

幼児期から思春期までの子どもの心身の発達や親の望ましいあり方等について学ぶ自信がもてる子育て講座等を開催した。

開 催 数　　10回　　受講者数　　延べ227人

イ　家庭教育講座支援事業

すべての教育の原点である家庭教育力向上を目的として開催される、家庭教育に関する学習会へ講師を派遣した。

派遣回数　　12回

4　青 少 年 対 策

⑴　青少年問題協議会

青少年対策にかかわりのある機関・団体及び行政の代表13人で構成されている青少年問題協議会を年２回開催し、青少年の社会参画について意見交換を行った。

⑵　青少年を健やかに育てる会

青少年健全育成を主眼に、地域組織として18地区に設置されている「青少年を健やかに育てる会」は、育成部・補導部により積極的な地域ぐるみの活動を行い、青少年の健全育成と被害・非行防止に努めた。

⑶　青少年健全育成啓発事業

市民が青少年問題に対する関心を深め、青少年の健全育成を推進するために、「青少年を健やかに育てる会」及びその他の関係機関と緊密な連携を保ちながら青少年健全育成啓発事業を行った。

11月の「子供・若者育成支援推進強調月間」には、沼津駅周辺での街頭キャンペーンを実施し、さらに広報活動を通して青少年健全育成の啓発に努めた。

また、児童生徒が通学路や遊び場等で危険に遭遇した時、すぐに助けを求められる場所として「こどもかけこみ110番の家」（令和８年３月31日現在2,154か所）を設置した。

⑷　青少年育成推進員制度

各地区の「青少年を健やかに育てる会」から推薦された318人で構成され、「青少年を健やかに育てる会」の中核的な推進役として、地域の青少年の育成や地区行事等で活動した。

⑸　青年教育推進事業

青年が個人の教養や技術を身につけるとともに、地域での社会貢献の意識を高めることを

目的として、教養講座や交流活動を実施した。

⑹　二十歳の集い

市内17会場で地域における手づくりの式典を開催した。

また、責任ある大人としての自覚と市政への関心を喚起するため、二十歳の議会を開催した。18人の若者が、市政についての質問や、「これからのわたしと沼津」をテーマに一言発言を行った。

⑺　わたしの主張大会

市内の中学生が家庭、学校、郷土（地域）、友人、将来のこと、あるいは、自分の体験や日頃考えていることを発表する場として第44回大会を開催し、市内19中学校から校内審査により選ばれた19人が発表した。

⑻　高校生しゃべり場 in ぬまづ

各高校の代表生徒に日頃感じていることや意見を自由に発言する場を提供することで、高校生の社会参加のきっかけを作るとともに、生徒自身の社会に対する意識の高揚を図り青少年の健全育成を促すことを目的として、ディスカッション方式で開催した。第13回となる本年度は、14人の高校生が、「高校生の視点で考えるまちなかの魅力づくり」をテーマに活発な意見交換を行った。

⑼　青少年体験学習推進事業

幅広い分野での体験の機会を設け、参加者の自ら学び考える力や様々な物、事への興味・関心・意欲の向上を図ることを目的に、学校や家庭ではできない体験活動を実施した。

開 催 数　　3回　　参加者数　　70人

⑽　青年団体の育成及び青少年育成団体との連携

沼津市子ども会育成連絡協議会等と常に緊密な連携を保ちながら青少年の健全育成を図った。

⑾　子どもの居場所づくり推進事業

行政、学校、放課後児童クラブ、児童福祉、社会教育の関係者や地域住民の代表などの委員で構成される「放課後子ども対策運営委員会」を設置し、「放課後児童クラブ」と「放課後子ども教室」との関連や活動場所、人材確保など本市において「放課後児童対策パッケージ」等について協議をし、「放課後子ども教室」を市内5か所の小学校にて実施した。

5　青少年教育センター

⑴　補　　導

ア　中 央 補 導

繁華街での補導を強化するため、地区補導委員代表者及び警察署等と連携を保ちながら計画的な街頭補導を実施した。

イ　地 区 補 導

市内全域の補導強化を図るため、18地区の「青少年を健やかに育てる会」から推薦された少年補導委員により、それぞれの地区の実情に合った補導を実施した。

街頭補導実施状況

実施回数	補導委員従事延べ人数	声かけ、注意、指導した少年	事後指導（家庭・学校・他機関への連絡）
回 563	人 2,501	人 2,271	人

街頭補導少年の学職別状況（中央補導・地区補導）

（単位　人）

区分 ＼ 学職別		小学生	中学生	高校生	その他学生	有職少年	無職少年	計
行為種別	飲酒							0
	喫煙							0
	薬物乱用							0
	夜間はいかい		2	3	3			8
	不良交友							0
	怠学・怠業							0
	ゲームセンター入場	29	89	373		1		492
	パチンコ店入場							0
	カラオケ店入場			8				8
	自転車の暴走行為	2	4	15	2			23
	自転車の二人乗り							0
	自転車の無灯火			2				2
	危険な遊び			6				6
	その他			3				3
計		31	95	410	5	1	0	542
事後指導	家庭・学校・職場へ連絡							0
	他機関へ連絡							0
	計	0	0	0	0	0	0	0
愛の声かけ運動		482	517	712	14	4		1,729

※少年は20歳未満の者

⑵　良好な環境整備の推進

有害図書の販売場所、ゲームセンター、カラオケ店及び公園・空き地等、青少年の集まりやすい場所を見回ることで、良好な環境の整備に努めた。

⑶　広 報 活 動

被害・非行防止及び健全育成の啓発を図るため、青少年教育センターの機関紙「たより」の発行、関係機関や団体との情報交換を行った。

⑷　教 育 相 談

面接相談と電話相談の各利点を生かして、児童生徒及び保護者の相談に応じた。教育相談の実績は、面接相談154件（延べ1,708回）、電話相談754件であった。

ア　相談指導学級

不登校の児童生徒の学校復帰や社会的自立を図るため、通級による指導を行った。

イ　面 接 相 談

非行、不登校、発達・子育て、進路・適性、対人関係等の課題について、職員や臨床心理士、言語聴覚士により面接相談を通じて相談者自身による課題解決を支援した。また、本人や保護者との面接のほか、必要に応じて学校等への訪問を実施した。

相談内容・対象者別内訳

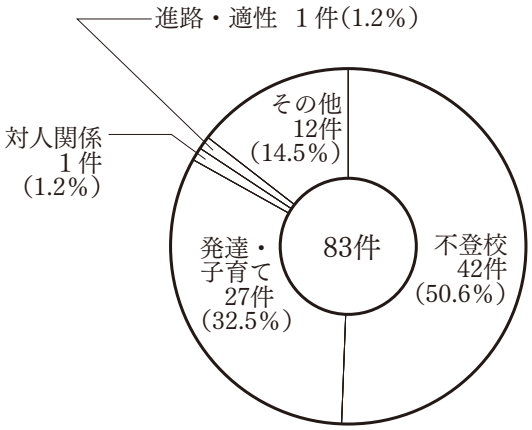
（単位　件）

対象者＼内容	非　行	不登校	発達・子育て	進路・適性	対人関係	その他	計
幼　児			2				2
新　規			2				2
小学生		41	30	1	1	7	80
新　規		24	19	1	1	6	51
中学生		46	8			5	59
新　規		17	5			5	27
高校生		6	2	1		3	12
新　規		1	1			1	3
その他						1	1
新　規							0
本年度	0	93	42	2	1	16	154
新　規	0	42	27	1	1	12	83

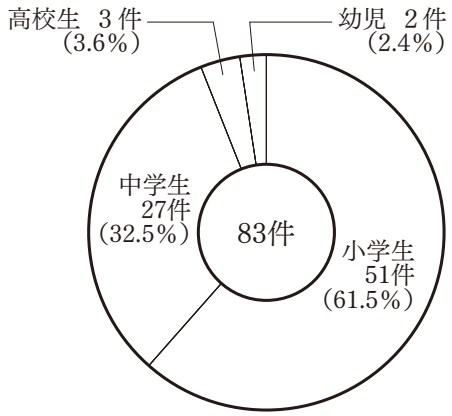
※対象者のその他……大学（短大）生・専門学校生・有職少年・無職少年など
※上段は相談件数
※下段は新規相談で上段の内数

［新規相談受理状況］

内容別相談件数



対象者別相談件数



ウ　相談指導学級における教育相談教員研修

学校における複雑多様化した児童生徒の行動を理解し、課題の改善を図る手法として、「教育相談的かかわり」のできる教員を育成することを目的に、教職員研修センターの主催する「若手教員研修」のうち相談指導学級における体験研修を行った。(受講者16人、年間８回)

エ　電 話 相 談

「やまびこ電話」の愛称で呼ばれる電話相談では、電話を通して訴えられる青少年に関する多種多様な課題や悩みについて、16人（令和８年３月31日現在）の相談員が共に悩み考えながら解決へ向け支援した。

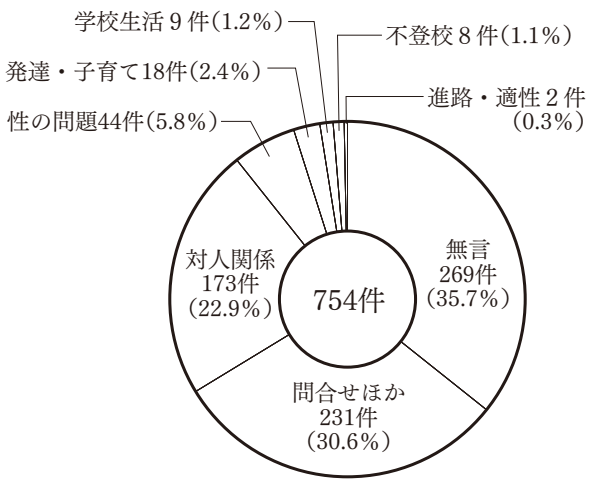
相談内容・対象者別内訳

（単位　件）

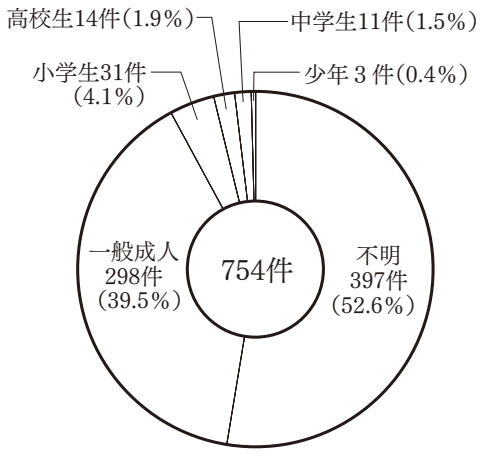
内容＼対象者	乳幼児	小学生	中学生	高校生	少　年	一　般 成　人	不　明	計
非　　行								0
不　登　校		6	1		1			8
発達・子育て		13	3			2		18
性の問題		4	3	9	2	7	19	44
進路・適性		1	1					2
対人関係			1	2		161	9	173
学校生活		6	2				1	9
問合せほか		1		3		128	99	231
無　　言	—	—	—	—	—	—	269	269
計	0	31	11	14	3	298	397	754

※少年は20歳未満の大学（短大）生・専門学校生・有職少年・無職少年

内容別相談件数



対象者別相談件数



6　芸術・文化振興

市民による自主的な芸術・文化活動を支援し、その成果を発表する場として、市民の参画により「第52回沼津市芸術祭」を開催した。

部門名	開催日・会場	内容
書道展	10.1～10.5 プラサヴェルデ	出品総数　88点 書道の作品展示
合唱祭	10.5 市民文化センター	参加団体　22団体（405人） 児童、女声、男声、混声による合唱の発表
芸術祭茶会	10.5 御用邸記念公園東附属邸	参加団体　3団体（55人） 表千家、黄檗弘風流による茶席と小学生を対象としたお茶会の体験
写真展	10.10～10.14 市民文化センター	出品総数　27点 写真の作品展示
秋の舞踏会	10.12 市民文化センター	参加団体　6団体（102人） 各洋舞団体のフラメンコ、バレエ、ジャズダンスの発表
美術展	10.15～10.19 プラサヴェルデ	出品点数　101点 洋画、日本画、水彩画、版画の作品展示
演劇祭	10.18 市民文化センター	参加人数　16人 朗読劇の上演
沼津寄席	10.19 市立図書館	参加人数　8人 講談、マジックの披露
バレエパフォーマンス	10.19 市民文化センター	参加団体　5団体（90人） 各バレエ団体による作品と合同作品の発表
郷土ふれあい太鼓	10.26 市民文化センター	参加団体　5団体（50人） 太鼓の演奏
邦楽祭	10.26 市民文化センター	参加団体　9団体（79人） 箏、三味線、謡、尺八の披露
現代いけばな展	10.31～11.2 市民文化センター	出品点数　29点 自由な発想による超流派のいけばな展示
クライネムジークコンサート	11.1 市民文化センター	参加人数　11人 プロ、セミプロによるクラシック音楽の演奏
音楽の広場	11.2 市民文化センター	参加団体　11団体（349人） 高校生を中心とした吹奏楽の演奏
日本舞踊祭	11.9 市民文化センター	参加人数　25人 古典日本舞踊の披露
新舞踊祭	11.15 市民文化センター	参加団体　10団体（112人） 各団体による新舞踊の披露
ぬまづ文芸	11.16　発行	出品数　517点 随筆、詩、短歌、俳句、川柳の作品募集と発表

○　５月に第43回ぬまづ茶会を沼津御用邸記念公園で開催し、茶道文化の普及を図った。

○　山口源新人賞受賞者等を講師に迎え、版画ワークショップを開催した。

○　子ども向け芸術体験イベントを開催した。

○　まちかど活用文化事業

高沢公園で身体表現のアーティストと音楽家による即興パフォーマンスを披露した。

7　文　化　財

郷土の文化遺産の保護・継承のため、文化財の調査・整理及び保存に努めるとともに、特に重要性が高い文化財に対しては、文化財保護審議会を２回開催し、文化財の保存及び活用に関する事項について調査・審議を行った。

埋蔵文化財発掘調査関係の主な業務は、中原遺跡埋蔵文化財発掘調査受託事業ほか６事業であった。

史跡等保全整備事業として、興国寺城跡の整備の基本方針や課題、具体的な対応案等をまとめた整備基本計画を策定するとともに、暫定駐車場と整備イメージの周知看板等を設置し、来場者の利便性の向上を図った。また、高尾山古墳の保存・活用を進めていくための指針となる保存活用計画の素案を作成したほか、国史跡指定地内の用地１件285.4㎡を取得した。さらに、大瀬崎のビャクシン樹林の保存と観光資源としての活用を図るため、サインと保護柵を新たに設置した。

文化財の活用推進を図る取り組みとしては、長浜城跡開園10周年を記念し、講演会や体験イベントを実施したほか、地域団体との共催イベントや小中学校等への出前講座、講師派遣等を36回実施した。さらに、文化財まちあるきマップの作成、小中学校へのデジタルコンテンツの提供、合同文化財オンライン授業の実施など、身近な文化財の地域住民への周知に努めた。また、「駿河湾のめぐみと行き交う船」がしずおか遺産として静岡県知事の認定を受けた。

8　社会教育施設

⑴　若山牧水記念館

公益社団法人沼津牧水会を指定管理者として、歌人若山牧水の業績の顕彰と沼津の文学風土を紹介することを目的に、文学資料の保存や調査・研究を行うとともに、講座・講演等を開催し、広く市民の教養・文化の向上に努めた。

ア　事　　業

㋐　講座・講演等

○ 「初心者のための短歌講座」113人、「牧水記念館短歌会」100人

4月～令和8年2月　　参加者　合計213人　講師　永久保　英敏・湯山　昌樹

○ 「中学生短歌コンクール」

募集期間　　5月1日～7月31日

応募短歌　　19校　1,355首　　特選10首　　入選短歌40首

○ 「短歌大会」

10月5日　　講師　大辻　隆弘（『未来』編集発行人、宮中歌会始選者、第29回若山牧水賞受賞者）

応募短歌　　109首　　参加者67人

○ 「第38回 雛の歌会」

令和8年2月28日　　講師　江戸　雪（「西瓜」所属）

応募短歌　　82首　　参加者53人

㈠ 調査・研究

牧水顕彰のための調査・研究を行い、関係資料の収集に努めるとともに、館報の作成に活用した。

㈡ 若山牧水記念館館報の刊行

「沼津市若山牧水記念館」館報（年2回）を刊行し、市民への啓発を行った。

第75号（9月1日）

第76号（令和8年3月15日）

イ　入館者数と開館日数

月	入館者数	開館日数	月	入館者数	開館日数
4	203 人	26 日	10	314 人	27 日
5	364	27	11	318	26
6	206	25	12	234	23
7	212	27	8.1	249	16
8	302	27	8.2	385	24
9	200	25	8.3	318	26

入館者数	3,305人
開館日数	299日
1日平均入館者数	11.1人

⑵　歴史民俗資料館

郷土の歴史・民俗資料の収集、保管、調査・研究を行い、企画展や講座を開催し、市民文化の向上と発展に努めた。また、施設の老朽化等に伴う移転整備に向けた取り組みを進めた。

ア　歴史民俗資料館協議会

館の円滑な運営を図るため、委員７人による協議会を３回開催し、館の運営計画や展示計画、ＰＲ方法などについて協議した。

イ　事　　業

㋐　調査・研究活動として、民俗、古文書等の収蔵資料の整理を実施した。

㋑　普及活動として、「資料館だより」（年４回)、「沼津市歴史民俗資料館資料集36」「沼津市博物館紀要50」（明治史料館と共同）を刊行した。

㋒　夏休み期間中に体験学習「昔の道具を使ってみよう」を開催した。（参加者30人）

㋓　11月９日に歴民講座「戦国北条家の判子行政と豆州西浦」（参加者134人）を開催した。

ウ　展　　示

㋐　常 設 展

１階展示室に「内浦湾の漁法と漁具」、２階展示室に「生活用具とものづくり」、「沼津の漁業」を展示した。

㋑　企 画 展

「風光絶佳　遊覧の三津～伊豆の海辺に花開いた観光地～」を開催した。

（令和８年２月７日～３月31日）

エ　入館者数と開館日数

月	入館者数	開館日数	月	入館者数	開館日数
4	1,461 人	24 日	10	1,677 人	26 日
5	1,875	26	11	2,316	25
6	2,135	24	12	1,212	23
7	1,352	26	8.1	1,570	23
8	1,802	26	8.2	1,722	22
9	1,170	23	8.3	1,999	25

入 館 者 数	20,291人
開 館 日 数	293日
１ 日 平 均 入 館 者 数	69.3人

⑶　明治史料館

江原素六、沼津兵学校及び沼津の歴史の資料による常設展示のほか、資料の調査・収集・保存、館外展示、講座開設、出版活動を行い、文化の向上と発展に努めた。

なお、長寿命化屋根等改修工事を実施し、工事期間の７月21日～令和８年２月28日を休館した。

ア　明治史料館協議会

館の円滑な運営を図るため、委員10人による協議会を３回開催し、運営及び事業計画などについて協議した。

イ　展　　示

㋐　常 設 展

３階北側は「江原素六」、南側は「沼津の歴史」、４階は「沼津兵学校」を展示した。

㋑　館外展示

第22回明治史料館　館蔵資料展「べらぼうの時代の沼津の文化」（９月２日～29日・沼津信用金庫本店「ぬましんストリートギャラリー」）

ウ　教育普及事業

㋐　そろくの日

５月18日、江原素六の功績に対し感謝と理解を深めるため、房楊枝づくり体験、紙芝居、そろくんクイズなどのイベントを開催した。

㋑　夏休み文化財イベント「昔の世界へタイムスリップ」

８月３日

①　終戦80周年展示「沼津大空襲と銃後の生活」

②　平和を考える戦争史跡めぐり

小学生とその保護者を対象に、地域の歴史学習の場を提供した。

㋒　博物館実習生の受入れ

８月19日～９月２日、学芸員資格取得のための博物館実習生として大学生３人を受け入れた。

㋓　ギャラリートーク2025

４月～７月・令和８年３月の第２土曜日、年間で５回開催し、職員が参加者と対話しながら展示の解説をした。

㋔　講師派遣

江原素六、沼津兵学校及び沼津の歴史をテーマとし、各種の講座に講師として職員を

12回派遣した。

(カ)　出版活動

館報である「明治史料館通信」（通巻161～164号・年４回）及び歴史民俗資料館との共同による「沼津市博物館紀要」50号を刊行した。

エ　富士・沼津・三島３市博物館関連

10月25日、沼津市立図書館において、沼尻晃伸立教大学文学部教授を講師に迎えて「高度経済成長と人びとのくらし―石油化学コンビナート進出阻止運動とその背景―」をテーマに講演会を開催した。

オ　入館者数と開館日数

月	入館者数	開館日数	月	入館者数	開館日数
4	153 人	24 日	10	― 人	― 日
5	284	26	11	―	―
6	118	15	12	―	―
7	124	18	8.1	―	―
8	―	―	8.2	―	―
9	―	―	8.3	336	25

入館者数	1,015人
開館日数	108日
１日平均入館者数	9.4人

※７月21日～令和８年２月28日まで休館

(4)　戸田造船郷土資料博物館

幕末に日本に来航して駿河湾で沈没したロシアの軍艦ディアナ号、その代船として建造されたヘダ号関係の資料、戸田の漁業や廻船業などの郷土資料を展示・収集した。

ア　戸田造船郷土資料博物館協議会

館の運営の円滑化を図るために、委員６人からなる協議会を２回開催し、館の展示計画や広報活動、資料収集活動のあり方について協議した。

イ　展　　示

ヘダ号の建造資料及びディアナ号・プチャーチン関連の遺品等の常設展示

大名びな展（４月１日～５月31日）

沼津市戸田村合併20周年記念企画展（６月１日～令和８年１月31日）

戸田から見た富士山写真展（令和８年２月１日～２月28日）

ウ　入館者数と開館日数

月	入館者数	開館日数	月	入館者数	開館日数
4	694 人	25 日	10	605 人	25 日
5	789	27	11	697	25
6	536	26	12	625	24
7	664	25	8.1	760	25
8	1,166	28	8.2	811	23
9	688	25	8.3	1,021	27

入館者数	9,056人
開館日数	305日
1日平均入館者数	29.7人

⑸　庄司美術館（モン ミュゼ沼津）

ＮＰＯ法人レザミ・デ・ザールを指定管理者として、所蔵する山口源や前田千寸の作品による常設展や企画展を行い、市民に美術鑑賞の場を提供した。

ア　庄司美術館運営委員会

美術館の適正な運営を図るため、委員５人による運営委員会を２回開催し、運営及び展示計画などについて協議した。

イ　展　　示

期　日	1階展示室	2階展示室
4.5～6.1	過ぎゆく時の詩学 高木　俱展	所蔵作品展 （山口源・前田千寸）
6.7～8.3	点と白が織りなす　―光と影 鈴木浩二展	
8.9～9.28	紙の、えほん 駒形克己展	
10.4～11.24	織りの地平 ―記憶と文化をたどる旅 小林グレイ愛子展―	ぬまづスクールミュージアム2025 アーカイブ展
11.29～8.1.25	地図のない旅 白砂勝敏展	所蔵作品展 （山口源・前田千寸）
8.1.31～3.29	おちる、はみだす、ずれる。 伊藤千史展	

ウ　入館者数と開館日数

月	入館者数	開館日数	月	入館者数	開館日数
4	115 人	21 日	10	354 人	24 日
5	152	27	11	222	23
6	107	21	12	170	24
7	204	27	8.1	178	20
8	716	23	8.2	168	23
9	553	23	8.3	167	25

入館者数	3,106人
開館日数	281日
1日平均入館者数	11.1人

⑹　芹沢光治良記念館

本市生まれの作家芹沢光治良の関係資料を整理・収集・保存し、企画展示を行うとともに、２階展示室を市民ギャラリーとして沼津の文化に関する企画展示を一般公募するなど、市民文化の向上と発展に努めた。

ア　芹沢光治良記念館懇話会

館の円滑な運営を図るため、委員５人による懇話会を２回開催し、運営方法及び事業計画などについて参考意見を聴取した。

イ　事　　業

㋐　資料整理・保存

芹沢光治良関連資料のデータベース化と適正保存を進めるために、資料目録の点検、補填など、資料の整理及び保存の処理を行った。

㋑　各種広報活動

当館を周知するためのポスター及びチラシ等を作成し、市内小中学校等の教育機関、各自治会及び主要な公共施設に配布した。また、各イベント会場へ出向き、同様に配布した。

㈦　教育普及

企画展展示説明会や出前講座等を実施した。

事　業　名	内　　容	期　日	備　　考
出前講座	朝会・６年生地域学習 芹沢光治良と校歌について	6.3	香貫小学校 参加者444人
	芹沢光治良について	7.1	愛鷹地区センター 参加者30人
	６年生地域学習 芹沢光治良について	9.11	第三小学校 参加者40人
	芹沢光治良について	9.18	桃中軒ビル６階 参加者15人
	芹沢文学入門及び芹沢光治良と沼津・長泉	8.1.16	門池地区センター 参加者15人
	企画展　光治良　思い出の風景 ～富士山にどなられた～について	8.1.18	１階展示室 参加者10人
文学散歩	沼津の文豪三者の軌跡をたどるバスツアー	10.17	沼津市内 参加者20人
展示説明会	企画展『人間の運命』の舞台を旅する（第２回）	5.4	参加者28人
	企画展　光治良の戦争と平和 ―『サムライの末裔』―	8.24	参加者28人
	企画展　光治良　思い出の風景 ～富士山にどなられた～	8.2.23	参加者６人

ウ　展　　示

企画展

○　光治良の戦争と平和『サムライの末裔』（６月13日～11月30日）

○　光治良　思い出の風景～富士山にどなられた～（12月12日～令和８年３月31日）

エ　入館者数と開館日数

月	入館者数	開館日数	月	入館者数	開館日数
4	181 人	25 日	10	501 人	27 日
5	444	27	11	499	26
6	452	16	12	249	15
7	347	26	8.1	311	24
8	528	27	8.2	336	23
9	410	24	8.3	536	26

入館者数	4,794人
開館日数	286日
1日平均入館者数	16.8人

⑺　重要文化財松城家住宅

戸田観光協会を指定管理者とし、松城家住宅の歴史的、文化的価値等を紹介し、広く市民の教養及び文化の向上に努めた。

ア　事業

指定管理者の自主事業として、以下の事業を行った。

静岡県民の日記念イベント　魔除けの面展示会（8月21日）

沼津市×松崎町見どころ満載スタンプラリー（9月1日～令和8年2月28日）

深海アートステイin戸田　高足カニ面絵付け体験（7月20日～令和8年1月31日）

文化財防火デー（防火訓練）（令和8年1月26日）

富士山の日イベント（令和8年2月23日）

イ　入館者数と開館日数

月	入館者数	開館日数	月	入館者数	開館日数
4	205 人	27 日	10	210 人	26 日
5	176	27	11	230	26
6	124	26	12	184	27
7	184	26	8.1	297	26
8	295	28	8.2	344	25
9	170	26	8.3	168	27

入館者数	2,587人
開館日数	317日
1日平均入館者数	8.2人

９　社　会　体　育

生涯スポーツの振興のため、各種スポーツ大会等の開催のほか、小・中学校の体育施設の開放を推進するとともに、ＮＰＯ法人沼津市スポーツ協会、沼津市スポーツ推進委員連絡協議会、同各地区体育委員会、同スポーツ少年団、県市町対抗駅伝競走大会沼津市実行委員会の活動助成に努めた。

⑴　スポーツ大会等開催事業

名　　称	実施時期	概　　要
第66回沼津市 町別ソフトボール大会	4.20・27 ・5.11	30歳以上の男性及び高校生以下を除く女性が、ソフトボールを楽しむ中で、体力づくりと健康の増進を図り、試合を通して相互の親睦を深めた。(参加30チーム)
第59回沼津市 町別バレーボール大会	6.8・15	18歳以上の女性がバレーボールを楽しむ中で体力づくりと健康の増進を図り、試合を通して相互の親睦を深めた。(参加20チーム)
第70回 千本浜ファミリー マラソン大会	11.9 (雨天中止)	市民の健康増進と体力づくりを目的に、千本浜防潮堤を利用して、誰でも気軽に参加できるマラソン大会を予定していたが当日雨天のため中止した。
第72回 沼津市駅伝競走大会	8.1.18	職場スポーツの普及と青少年の体力増強を図ることを目的に、愛鷹広域公園周回コースにおいて実施した。(参加61チーム) また、小学校低学年の児童を対象に持久走を実施した。(参加83人)
第79回 沼津市スポーツ祭	通　年	各種スポーツの普及と底辺拡大を図るため、スポーツ協会の協力のもと本市最大のスポーツ大会を実施した。(陸上競技ほか全32種目)

⑵　スポーツ指導者バンク事業

市民のスポーツ振興と健康増進を図るため、自主的にスポーツを通じた健康づくり活動に取り組む団体等に対し、スポーツ指導者を派遣したほか、指導者の資質向上に取り組んだ。

○登録指導者数　　62人

⑶　トップアスリート教室開催事業

本市にゆかりのあるトップアスリートによるスポーツ教室を開催し、子ども達にトップレベルのプレーを間近で体感させることで、スポーツの楽しさを伝え、競技力の向上や才能の発掘を図った。

⑷　学校体育施設利用推進事業

地域スポーツの振興を図るため、小・中学校の体育施設を地域住民のスポーツの場として

開放し、市民の健康の維持・増進と体力づくりを図った。

学校体育施設利用状況

		運動場（昼間）	運動場（夜間）	体育館（昼間）	体育館（夜間）
小学校	日　数	1,184 日	1,792	1,373	4,076
	人　数	41,548 人	43,120	38,387	106,645
中学校	日　数	229 日	960	75	3,882
	人　数	5,801 人	16,045	1,964	77,491
小中一貫校	日　数	日	—	80	429
	人　数	人	—	1,161	6,025
計	日　数	1,413 日	2,752	1,528	8,387
	人　数	47,349 人	59,165	41,512	190,161

⑸　屋外運動場夜間照明施設整備事業

地域スポーツの振興を図るため、小・中学校等に設置してある夜間照明施設の点検及び修繕を行った。

⑹　スポーツ広場整備事業

地域住民の健康・体力づくりのため、遊休地等を借り上げた自治会に対し、グラウンド砂の補充を行った。

⑺　地域体力づくり教室等開催事業

身近な施設でたくさんの仲間とふれあいながら、健康・体力づくりができるように、また、運動をはじめるきっかけづくりとなるように各種の教室や講座を地区センターなどを会場に開催した。

ア　地域体力づくり教室

教室名		会場	定員(各期)	期・回数	参加人員	対象・運動レベル
女性美エクササイズ教室	Aコース	原地区センター	45	3期延べ29回	1,009	18歳以上 体力維持・向上を目的とした中級レベル
	Bコース		45	3期延べ29回	730	18歳以上 初心者にも手軽にできる初級レベル
アップ・UP体操教室	水曜日コース		80	3期延べ30回	911	健康増進を目的とした初級～中級レベル
	木曜日コース		80	3期延べ30回	1,027	運動不足解消とした初級レベル
アップ・UP体操教室		浮島地区センター	40	3期延べ30回	382	運動不足解消とした初級レベル
アップ・UP体操教室		愛鷹地区センター	40	3期延べ30回	670	運動不足解消とした初級レベル
からだづくり教室		今沢地区センター	30	3期延べ30回	388	体力維持を目的とした中級レベル
アップ・UP体操教室	水曜日コース		30	3期延べ30回	606	運動不足解消とした初級レベル
	木曜日コース		30	3期延べ30回	402	健康増進を目的とした初級～中級レベル
柔・酸・筋教室		片浜地区センター	35～40	3期延べ30回	376	体力維持を目的とした中級レベル
男性健康づくり教室			40	3期延べ30回	340	18歳以上 運動不足解消とした初級レベル
柔・酸・筋教室		金岡地区センター	25～30	3期延べ30回	575	体力維持を目的とした中級レベル
脚力改善教室			30	3期延べ30回	1,133	健康増進を目的とした初級～中級レベル
メンテナンスヨガ教室	Aコース		30	3期延べ28回	642	健康増進を目的とした初級～中級レベル
	Bコース		30	3期延べ28回	633	健康増進を目的とした初級～中級レベル
アップ・UP体操教室			30	3期延べ29回	1,073	運動不足解消とした初級レベル
からだづくり教室		門池地区センター	40	3期延べ30回	477	体力維持を目的とした中級レベル
フローピラティス教室			30	3期延べ29回	491	体力維持を目的とした中級レベル
アップ・UP体操教室	Aコース		40	3期延べ30回	438	運動不足解消とした初級レベル
	Bコース		40	3期延べ30回	583	健康増進を目的とした初級～中級レベル
アップ・UP体操教室		大岡地区センター	40	3期延べ29回	983	運動不足解消とした初級レベル
からだづくり教室			30	3期延べ29回	246	体力維持を目的とした中級レベル

教室名		会場	定員(各期)	期・回数	参加人員	対象・運動レベル
柔・酸・筋教室		第五地区センター	35〜40	3期延べ27回	413	体力維持を目的とした中級レベル
からだづくり教室	Aコース		40	3期延べ30回	858	体力維持を目的とした中級レベル
	Bコース		40	3期延べ30回	713	体力維持を目的とした中級レベル
アップ・UP体操教室			40	3期延べ30回	1,081	運動不足解消とした初級レベル
からだととのえ運動教室			40	3期延べ30回	429	運動不足解消とした初級レベル
リセットヨガ教室			35	3期延べ30回	734	初心者にも手軽にできる初級レベル
フローヨガ教室			35	3期延べ30回	791	初心者にも手軽にできる初級レベル
からだづくり教室	金曜日コース	第一地区センター	25	2期延べ30回	170	体力維持を目的とした中級レベル
	土曜日Aコース		25	3期延べ30回	581	運動不足解消とした初級レベル
	土曜日Bコース		25	3期延べ30回	536	体力維持を目的とした中級レベル
リラックスヨガ教室		第二地区センター	30	3期延べ28回	645	初心者にも手軽にできる初級レベル
チェアヨガ教室			30	3期延べ28回	608	初心者にも手軽にできる初級レベル
筋整&シェイプアップ教室			25	3期延べ30回	689	体力向上を目的とした中級〜上級レベル
アップ・UP体操教室	水曜日コース	第三地区センター	45	3期延べ29回	701	運動不足解消とした初級レベル
	木曜日コース		45	3期延べ30回	1,155	健康増進を目的とした初級〜中級レベル
アップ・UP体操教室		大平地区センター	30	3期延べ30回	506	運動不足解消とした初級レベル
男性健康づくり教室			30	3期延べ30回	447	18歳以上 運動不足解消とした初級レベル
アップ・UP体操教室		静浦地区センター	40	3期延べ30回	466	運動不足解消とした初級レベル
からだととのえ運動教室		内浦地区センター	40	3期延べ30回	872	運動不足解消とした初級レベル
アップ・UP体操教室		戸田B&G海洋センター	50	3期延べ30回	308	運動不足解消とした初級レベル
アクアウォーキング教室			30	1期延べ8回	83	体力維持を目的とした初級〜中級レベル
土曜水泳教室			30	1期延べ10回	211	年長〜小学生
夏休み短期水泳教室	前期コース		30	1期延べ5回	125	年長〜小学生
	後期コース		30	1期延べ5回	136	
計					27,373	

イ　短 期 講 座

	講　座　名	会　場	定員	開 催 日	参加人員	対象者
			人		人	
4月	自律神経を整えるリフレッシュヨガ	原地区センター		4．2	26	
	コンディショニングストレッチ	内浦地区センター		4．4	7	
	チ　ベ　ッ　ト　体　操	片浜地区センター		4．5	10	
	ボクシングエクササイズ	第三地区センター		4．8	8	
	美姿勢ウォーキング	大岡地区センター		4．9	20	
	心も体もすっきりエアロ	静浦地区センター		4．10	14	
	「転ばない」「転んだとき」「転んだあと」	第五地区センター		4．11	16	
	セラバンド筋トレ	愛鷹地区センター		4．15	13	
	初めて太極舞（タイチーダンス）	金岡地区センター		4．16	24	
	歌　謡　ス　テ　ッ　プ	第二地区センター		4．17	20	
6月	かんたんダンスエアロ	第三地区センター		6．3	7	
	ズ　ン　バ	原地区センター		6．5	24	
	体と心を整えるやさしいチェアヨガ	門池地区センター		6．6	19	
	梅雨を乗り切るデトックスヨガ	大岡地区センター		6．11	24	
	手軽に筋トレ＆エアロビクス	金岡地区センター		6．13	13	
	動き改善ラダートレーニング	静浦地区センター		6．17	12	
	身体を整えて筋力トレーニング	戸田B&G海洋センター		6．19	18	
	リフレッシュヨガ	片浜地区センター		6．20	14	
	ぽっこりお腹解消や腰痛予防・改善	第五地区センター	各24	6．24	25	18歳以上
	呼　吸　エ　ク　サ　サ　イ　ズ	浮島地区センター		6．25	11	
7・8月	ゆ　る　ヨ　ガ	戸田B&G海洋センター		7．16・23	11	
	ストレッチ用ポールを用いたケア&トレーニング	第五地区センター		7．23・30	22	
	カ　ラ　ダ　リ　セ　ッ　ト	第一地区センター		7．24・31	21	
	エアコンによる冷え！血流促進パワーストレッチ	第二地区センター		7．29・8．5	23	
	はじめてのヨガセラピー	金岡地区センター		8．6・13	21	
	動作の本質に意識を向けるエクササイズ	大岡地区センター		8．7・14	23	
	ウォーキングエクササイズ	原地区センター		8．8・15	16	
10月	夏のダメージをリセット	金岡地区センター		10．3	21	
	や　さ　し　い　ヨ　ガ	第五地区センター		10．4	16	
	か　ら　だ　ス　ッ　キ　リ	第二地区センター		10．7	22	
	ポ　ー　ル　ピ　ラ　テ　ィ　ス	第三地区センター		10．10	14	
	バ　レ　エ　エ　ア　ロ	浮島地区センター		10．15	18	
	お尻と脚エクササイズ	大平地区センター		10．16	6	
	ノルディックウォークの歩き方とエクササイズ	愛鷹地区センター		10．22	3	
	セラバンドエクササイズ	片浜地区センター		10．24	11	
	リンパデトックスヨガ	第一地区センター		10．28	21	
	メンテナンスストレッチ	原地区センター		10．30	23	

	講　座　名	会　場	定員	開 催 日	参加人員	対象者
11・12月	上半身＆下半身トレーニング	金岡地区センター	各24	11.19・26	23	18歳以上
	脚力改善！ラダートレーニング	戸田地区センター		11.28・12.5	7	
	睡眠の質を上げるポールトレーニング	門池地区センター		11.28・12.5	15	
	初めてボールピラティス	片浜地区センター		12.2・9	22	
	使える体幹	第一地区センター		12.3・10	23	
	バランストレーニング	第二地区センター		12.4・11	22	
	美温活よくばりエクササイズ	第五地区センター		12.4・11	29	
2・3月	ダイナミックストレッチング	片浜地区センター		8.2.3	10	
	ラダートレーニング	浮島地区センター		8.2.6	5	
	猫背・巻き肩解消と代謝UP！	静浦地区センター		8.2.10	13	
	転ばない体づくり	原地区センター		8.2.13	13	
	体調整え講座	第三地区センター		8.2.17	11	
	からだスッキリ講座	門池地区センター		8.2.18	15	
	誰でも楽しめる気軽な健康体操	第五地区センター		8.2.19	7	
	柔軟性UPヨガ	第四地区センター		8.2.25	20	
	じんわりめぐる「ストレッチヨガ」	第一地区センター		8.2.26	11	
	ZUMBA®（承認No.35840）	金岡地区センター		8.2.27	21	
計					884	

⑻　スポーツ施設マネジメント事業

スポーツ施設の適切な維持管理や長寿命化を図るため、戸田Ｂ＆Ｇ海洋センターの屋内運動場の照明改修工事、旧静浦東小学校の消火栓ポンプの改修工事、旧市民体育館跡地内の埋設管の撤去工事等を行った。

また、ストリートスポーツパークを拡張し、キッズ・ファミリーエリア及び駐車場を整備した。

⑼　沼津市民屋内温水プール利用料金助成事業

屋内温水プールの廃止に伴い、プールを活用した市民のスポーツをする意識及び機会の維持を目的として、市が指定した屋内温水プールを利用した市民に対し、利用料金の一部を助成した。

第５節　自然体験施設

１　ゆめとびら舟山

自然体験施設として、青少年の健全育成を図るための集団宿泊生活や野外活動など年間利用者数は33団体延べ1,077人であった。

⑴　ゆめとびら舟山運営審議会

沼津市校長会、沼津市スポーツ少年団、戸田観光協会などの７人により構成され、施設の利用促進、今後の活用の方策などについて審議した。

⑵　利　用　状　況

ア　月　　別

月／区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	8．1	8．2	8．3	計
団体数	2	6	1	3	3	1	2	6	4	1	3	1	33 団体
実人員	22	55	38	59	95	21	48	113	20	32	56	7	566 人
延べ人数	39	96	76	82	266	42	96	170	28	64	111	7	1,077 人
開所日数	26	27	25	27	27	25	27	26	24	20	20	21	295 日
利用率	1.5	3.6	3.0	3.0	9.9	1.7	3.6	6.5	1.2	3.2	5.6	0.3	3.7 %

※利用率＝$\dfrac{\text{延べ人数}}{\text{宿泊定員（100人）}\times\text{開所日数}}\times 100$

イ　団　体　別

団体／区分	幼・保	小学校	中学校	高等学校 各種学校等	スポーツ 少年団等	その他	計
団体数			2		12	19	33 団体
実人員			38		79	449	566 人
延べ人数			75		320	682	1,077 人

第6節　体　育　施　設

1　香陵アリーナ（総合体育館）

ＰＦＩ方式により整備した香陵アリーナ等の買取と維持管理・運営業務を実施した。

利用状況

（単位　人）

施　設　名	個人利用者	団体利用者	計
スポーツアリーナ	152	93,139	93,291
多目的アリーナ	79	32,735	32,814
武　道　場	524	37,185	37,709
弓　道　場	6,275	3,715	9,990
卓　球　場	16,639		16,639
トレーニング室	108,526		108,526
多目的スタジオ		18,540	18,540
多　目　的　室	552	5,166	5,718
ランニングコース	4,125		4,125
大会本部室		1,640	1,640
選手控室　1		864	864
選手控室　2		213	213
合　計	136,872	193,197	330,069

2　戸田Ｂ＆Ｇ海洋センター

戸田地区におけるスポーツ・レクリエーションの拠点として、また、地域に密着した親しまれる施設として利用に供した。

⑴　年度別利用状況

（単位　人）

区分／年度	プール		体育室	計
	個人利用者	団体利用者	団体利用者	
7	1,655	648	4,843	7,146
6	1,529	611	6,767	8,907

⑵　目的・種目別利用状況

区分	目的・種目	利用回数	利用者数
個人利用	プール	—回	1,655人
団体利用	プール	28	648
	バレーボール	29	1,163
	バドミントン	94	417
	バスケットボール	82	900
	卓球	82	309
	柔道	92	392
	その他（ダンス・カローリング等）	70	1,662
	小計	477	5,491
合計			7,146

3　屋外施設の年度別利用状況

戸田テニスコートを２面から１面に集約し、ハードコートを砂入り人工芝コートに改修した。

区分／年度	市営野球場		大岡公園内運動場		西部市民運動場		中瀬市民運動場	
7	282 回	10,053 人	613 回	22,307 人	401 回	6,532 人	262 回	5,748 人
6	259	9,320	580	20,763	428	7,247	274	6,072

区分／年度	愛鷹運動公園テニスコート（12面）	大岡公園テニスコート（４面）	戸田テニスコート（１面）
7	67,063 人	34,569 人	274 人
6	63,385	32,188	166

第7節　図　　書　　館

1　市立図書館協議会

図書館の円滑な運営を図るため、委員９人による協議会を２回開催し、運営や図書館サービスなどについて協議した。

2　資 料 整 備

利用者が求める様々な情報に対応するため、一般書、児童書、参考調査図書、電子書籍及び視聴覚資料等を整備した。

⑴　図 書 資 料

区　　分		購 入 数	金　　額	蔵 書 数
本　　館	一般	5,871 冊	17,381,606 円	377,861 冊
	児童	1,945	3,489,166	60,900
戸　　田	一般	335	802,767	25,262
	児童	220	448,855	12,237
自 動 車 文 庫	一般	222	369,913	4,002
	児童	104	163,471	1,418
地 区 セ ン タ ー	一般	884	1,728,286	31,502
	児童	326	558,063	38,278
計	一般	7,312	20,282,572	438,627
	児童	2,595	4,659,555	112,833

⑵　電子書籍資料

区　　分		購 入 数	金　　額	蔵 書 数
ぬ ま づ 電 子 図 書 館	一般	190 点	923,102 円	13,614 点
	児童	219	916,898	1,059
計		409	1,840,000	14,673

⑶ 視聴覚資料

区　分	購入数	金　額	所蔵数
本　館	181 点	1,059,672 円	42,354 点
戸　田	13	138,600	1,249
計	194	1,198,272	43,603

3　館内・館外業務

本館及び戸田図書館では、一般書、児童書、視聴覚資料、郷土資料、新聞、雑誌等の閲覧・貸出しや、予約・リクエストサービス、レファレンスサービス、コピーサービスなどを行うとともに、本館でのWi-Fiサービスを提供した。また、市街地周辺部の利用者に対して自動車文庫や地区センターの図書室において貸出しを行った。

⑴ 入館者数

区　分	年　度	開館日数	入館者数		
			年　間	1月平均	1日平均
本　館	7	296 日	241,981 人	20,165 人	818 人
	6	298	247,805	20,650	832
戸　田	7	280	7,331	611	26
	6	283	6,546	546	23

⑵　貸出利用者数、貸出数

（視聴覚資料は館内ブース利用も含む）

区　分	年　度	利用者数	貸出数		
			図書資料	視聴覚資料	計
本　館	7	217,298 人	577,851 冊	58,188 点	636,039 冊・点
	6	219,530	590,856	62,563	653,419
戸　田	7	2,555	5,661	216	5,877
	6	2,359	5,199	396	5,595
自動車文庫	7	3,042	13,016	—	13,016
	6	3,127	13,870	—	13,870
地区センター	7	17,223	45,938	—	45,938
	6	17,175	48,396	—	48,396
計	7	240,118	642,466	58,404	700,870
	6	242,191	658,321	62,959	721,280

⑶　ぬまづ電子図書館

年　度	開館日数	貸出数	
		年　間	1日平均
7	365 日	14,843 点	41 点
6	365	20,303	56

⑷　自動車文庫

市内45か所のステーション及び小学校２校を巡回して、市街地周辺部の利用者及び小学生への図書貸出しを行った。

年　度	出動日数	貸出数		
		年　間	1月平均	1日平均
7	182 日	13,016 冊	1,085 冊	72 冊
6	186	13,870	1,156	75

⑸　郵送・宅配・団体貸出

図書館に来館することが困難な利用者（身体障がい者等）で登録された157人を対象に郵送や宅配貸出しを行った。また、沼津聴覚特別支援学校等に図書の団体貸出しを行った。

年　度	郵　　送		宅　　配		団　　体	
	利用件数	貸 出 数	利用件数	貸 出 数	利用者数	貸 出 数
7	14 件	30 冊	107 件	581 冊	31 団体	14,762 冊
6	21	50	112	616	28	13,266

⑹　レファレンスサービス

利用者の求める資料の検索や情報の収集を支援する、レファレンスサービスを行った。

（単位　件）

年　度	窓　口	電　話	文　書	電子メール	計
7	7,530	116	1	10	7,657
6	6,551	142	1	4	6,698

⑺　相 互 貸 借

各図書館の間で相互に図書資料の貸借を行い、利用者の要求に応えている。

ア　貸　　出

年　　度	県内図書館		県外図書館		計	
	件　数	貸出数	件　数	貸出数	件　数	貸出数
7	559 件	748 冊	12 件	12 冊	571 件	760 冊
6	625	925	11	11	636	936

イ　借　　受

年　　度	県内図書館		県外図書館		計	
	件　数	借受数	件　数	借受数	件　数	借受数
7	819 件	1,437 冊	43 件	65 冊	862 件	1,502 冊
6	1,097	1,731	44	64	1,141	1,795

⑻　静岡県東部地域図書館間の相互利用

県東部地域の公共図書館相互利用協定により、各市町の利用者は、直接、協定先の図書館から図書資料の貸出しを受けることができる。

協定先は、熱海市、三島市、富士宮市、伊東市、富士市、御殿場市、下田市、裾野市、伊豆市、伊豆の国市、南伊豆町、松崎町、函南町、清水町、長泉町及び小山町の10市６町で、令和８年３月31日現在の登録者数は、21,594人である。

４　自 主 事 業

⑴　図書館講座等

図書館活動の一環として、読書活動の推進及び図書館の利用促進のため、図書館資料と関連を持たせた講座等を開催した。

ア　子どもの本を知る講座

月 日	内　　容	講　　師
7.13	「ナンセンス絵本の世界へようこそ」 ～無意味を楽しむ～	静岡県子ども読書アドバイザー 鳴海　恵美

参加者　22人　　会場　第１・２講座室　　開催時間　13：30～15：00

イ　夏休み子ども講座

月 日	内　　容	講　　師
7.25	「沼津の気候はどんなかな？」	静岡地方気象台職員

参加者　23人　　会場　第１・２講座室　　開催時間　13：30～15：00

ウ　読書週間講演会

月 日	内　　容	講　　師
11.2	「静岡の仏像で学ぶ仏像入門」 ～東部・伊豆を中心に～	上原美術館上席学芸員　　田島　整

参加者　110人　　会場　視聴覚ホール　　開催時間　13：30～15：00

エ　大人の講座

月 日	内　　容	講　　師
11.30	「はじめて学ぶ終活」	東京都行政書士会会員 静岡県行政書士会会員

参加者　39人　　会場　第１・２講座室　　開催時間　13：30～15：30

オ　読み聞かせ講座

月 日	内　　容	講　　師
8.2.15	「子どもに届ける読み聞かせ講座」	絵本でほっこりの会　　上甲　知子

参加者　15人　　会場　第１・２講座室　　開催時間　13：30～15：30

⑵ 展 示 事 業

期　　間	名　　称	内　　容
4.10～5.28	「いまも読み継がれている昭和の名作絵本展」	世代を超えて幅広い読者に読み継がれてきた昭和の名作絵本を紹介・展示
10.2～12.10	読書週間企画展 「仏像の世界」	講演会内容に合わせ「仏像」について、基礎知識から国宝や沼津周辺の仏像まで幅広く解説、紹介
12.13～ 8.1.18	冬の企画展 「冬に読みたいこどもの本」	冬をテーマにした絵本・児童書の紹介や図書館職員によるおすすめ絵本を展示
8.2.18～ 3.18	「富士山に魅せられて2026写真展」	２月23日の「富士山の日」に合わせ、富士山の四季折々を捉えた写真を展示

⑶ そ の 他 事 業

ア 「子ども読書活動推進」関連事業

⑺ 講　座 「ふくながじゅんぺいさんとつくろう！オリジナルこいのぼり」

開催日　４月27日

講　師　絵本作家　ふくなが　じゅんぺい

参加者　46人

⑴ 夏休みわくわく図書館

ぬまづ子どもの本を学ぶ会との共催で、人形劇や読み聞かせ、身近な材料を使った工作など、本に関連したさまざまな催しを開催した。

開催日　8月6日　参加者　227人

イ　夏休み図書館子ども探検隊

小学生を対象に、図書館の仕事を体験することによって、図書館のしくみや本の調べ方などを学び、将来の利用者を育てることを目的として開催した。

開催日　本　　館　7月24・25・29・30・31日、8月1・5日

戸田図書館　7月24・25・27・31日

参加者　本館　37人　　戸田図書館　4人

ウ　上　映　会

視聴覚資料の有効利用を図る観点から、夏休み及び春休みに上映会を開催した。

本　　館　上映回数　5回　　参加者　延べ343人

戸田図書館　上映回数　1回　　参加者　　8人

エ　ふれあいフェスティバル

ボランティアの協力を得て、幼児・小学生を対象とした絵本の読み聞かせや工作遊びなどのさまざまな催しを開催した。

開催日　10月4日　　参加者　403人

オ　ビブリオバトル

(ア)　ビブリオバトル小中学生大会 in 沼津2025

学校と連携し、小中学生を対象としたビブリオバトルを開催した。

開催日　12月14日

参加者　動画による予選　　小学生の部　38人　　中学生の部　25人

発表者　　小学生の部　8人　　中学生の部　6人

観戦者　　小学生の部　83人　　中学生の部　53人

(イ)　大人のビブリオバトル

高校生以上を対象としたビブリオバトルを開催した。

開催日　令和8年3月6日

参加者　発表者　4人　　観戦者　34人

5　図書館情報ネットワーク事業

本館と戸田図書館及び市内16か所の地区センターをネットワーク化することで、図書館の分館的な機能を整備している。また、図書館ホームページから図書館資料の検索や予約を可能とするなど、利用者の利便性向上と図書館資料の利用促進を図った。

ホームページアクセス件数　　498,626件

オンライン予約件数　　35,322件

ぬまづ電子図書館予約件数　　2,289件

6　図書館施設整備事業

図書館の適切な維持管理や長寿命化を図るため、非常用発電設備の更新工事や自動制御装置他更新工事等を行った。

第8節　市民文化センター

1　市民文化センター

公益財団法人沼津市振興公社を指定管理者として、文化芸術の鑑賞・交流の場として利用者の立場に立った利用しやすい施設となるように努めた。

⑴　市民文化センター運営審議会

市民文化センターの円滑な運営を図るため、委員7人による審議会を2回開催し、施設の利用促進などについて審議した。

⑵　市民文化センター施設整備事業

市民文化センターの機能・設備改修のため、改修工事実施設計業務委託を実施したほか高圧受変電設備更新工事、空調設備（熱源）等更新工事に着手した。

(3) 利 用 状 況

区　分	可　能		使　用					利用人数
	日 数	回 数	日 数	率	件 数	回 数	率	
大 ホ ー ル	319 日	957 回	160 日	50.2 %	167 件	399 回	41.7 %	71,943 人
小 ホ ー ル	314	942	223	71.0	258	504	53.5	42,626
ホ ー ル 計	633	1,899	383	60.5	425	903	47.6	114,569
大 会 議 室	337	1,011	173	51.3	194	320	31.7	7,733
第 1 練 習 室	339	1,017	148	43.7	161	235	23.1	4,834
第 2 練 習 室	339	1,017	126	37.2	126	222	21.8	4,356
第 3 練 習 室	187	561	82	43.9	90	142	25.3	2,717
第 1 会 議 室	339	1,017	79	23.3	83	143	14.1	1,330
第 2 会 議 室	339	1,017	57	16.8	59	106	10.4	782
第 3 会 議 室	339	1,017	128	37.8	138	225	22.1	2,128
第 4 会 議 室	339	1,017	100	29.5	104	166	16.3	1,549
第 5 会 議 室	339	1,017	175	51.6	190	253	24.9	3,185
第 6 会 議 室	339	1,017	123	36.3	134	196	19.3	1,026
第 7 会 議 室	339	1,017	24	7.1	25	49	4.8	252
特 別 会 議 室	339	1,017	26	7.7	26	51	5.0	78
会 議 室 計	3,914	11,742	1,241	31.7	1,330	2,108	18.0	29,970
1リハーサル室	337	1,011	236	70.0	297	421	41.6	5,700
2リハーサル室	339	1,017	208	61.4	270	394	38.7	4,294
リハーサル室計	676	2,028	444	65.7	567	815	40.2	9,994
展　示　室	339	339	107	31.6	107	107	31.6	6,793
計	5,562	16,008	2,175	39.1	2,429	3,933	24.6	161,326